

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人防災科学技術研究所施設整備に必要な経費(復興関連事業)		担当部局	研究開発局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室	地震・防災研究課		地震・防災研究課長 森澤 敏哉		
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	科学技術の戦略的重点化 X-9 安全・安心な社会の構築に資する科学技術の推進				
根拠法令(具体的な条項も記載)	独立行政法人防災科学技術研究所法 第十五条		関係する計画、通知等	科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定) 「防災基本計画」(平成24年9月最終改訂 中央防災会議)等				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	防災科学技術に関する基礎研究及び基盤的研究開発、それらに係る成果の普及及び活用の促進等の業務を総合的にを行い、防災科学技術の水準の向上を図り、成果の防災対策への反映を図ることにより、災害から人命を守り、災害の教訓を活かして発展を続ける災害に強い社会の実現を目指す。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被害のあった地震観測施設について復旧に必要な整備を行う。また、長周期の揺れが長時間にわたって発生する海溝型超巨大地震に対する被害軽減に向けた対策強化のため、実大三次元震動破壊実験施設(E-ディフェンス)の長周期化・長時間化仕様への施設改良を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算		0	4,234(復興特会計上)	0		
		繰越し等		1,744	0	0		
		計		△ 701	596	105		
	執行額			1,042	4,830(復興特会計上分を含む)	105		
	執行率(%)			958	91.9%	4,775	98.9%	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)	
	(独)防災科学技術研究所の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する。		成果実績		研究所の行う防災科学技術研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	研究所の行う防災科学技術研究開発等を実施するうえで必要となる施設・設備を整備。	事業の達成上必要最低限の範囲を計画的に満たす	
	達成度	%		-	-			
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	施設設備の整備 実施件数		活動実績(当初見込み)	件	(0)	2 (0)	3 (3)	— (1)
単位当たりコスト	1,592(百万円/年)		算出根拠	平成24年度執行額(4,775百万円)/施設整備の整備実施件数(3件)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検					
	項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	当該事業は、東日本大震災による被害に対する防災科学技術研究所施設の復旧及び対策に必要な整備であり、国が実施すべき事業である。また、当該施設を用いた研究活動の成果は、国民の災害対策に資するものであり、広く国民のニーズがある事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	原則として一般競争入札を行って支出先を選定している。事業実施可能者が、当該施設の設計・製造に熟知した者のみである場合においても、随意契約事前確認公募を行い、競争性を確保するとともにコストの削減の努力がみられる。また、補助金の交付決定に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査し、業務の財源に充てるために必要な金額のみを交付している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	東日本大震災により被害を受けた地震観測施設を復旧し、観測データを関係機関と共有している。これにより、大学等の研究の振興や気象庁の監視業務の推進等に貢献している。また、E-ディフェンスの長周期化・長時間化仕様への施設改良完了時に公開実験を実施し、プレス等を通じて、広く宣伝され更なる活用が期待される。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-			
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名
点検結果	<p>○平成24年度の行政事業レビューの結果を踏まえ、一般競争入札を原則とし契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、一者応札・一者応募についても改善のための取組を行い、経費の削減を図ったことを確認した。</p> <p>○E-ディフェンスの長周期化・長時間化仕様への施設改良工事は、既存部分と互換性を持たせて改造部分の設計・製作・据付・運転保証ができなければならず設計・製作者以外に受注の想定ができないため、一般競争入札は適用できない。随意契約事前確認公募や随意契約理由を公開して、契約の競争性、公平性、透明性の確保するとともに、経費の妥当性を検証し、コスト削減を図ったことを確認した。</p> <p>○メールマガジンによる調達情報の配信先の拡大など入札参加者を増やす取り組みを積極的に実施していることを確認した。</p>				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	所期の目標を達成したことから、平成24年度をもって廃止することとしている。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関係する計画、通知等 ○科学技術基本計画(平成23年8月 閣議決定) http://www.mext.go.jp/component/a_menu/science/detail/_icsFiles/afildfile/2011/08/19/1293746_02.pdf ○防災基本計画(平成24年9月最終改訂 中央防災会議) http://www.bousai.go.jp/taisaku/keikaku/pdf/20111227_basic_plan.pdf					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	0336	平成23年	新23-0063 復興-0038	平成24年 0329	

※平成24年度実績を記入。

文部科学省
4,775百万円

事業概要
独立行政法人防災科学技術研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を交付

[交付]

[A]

(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
地震観測施設整備
564百万円

[交付]

[B]

(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
地震観測施設整備
228百万円(復興特会)

[交付]

[C]

(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
実大三次元震動破壊実験施設整備
3,983百万円(復興特会)

事業概要

東日本大震災により被害を受けた地震観測網の現地施設及び観測機器の復旧(平成23年度補正予算)

事業概要

東日本大震災により被害を受けた地震観測網の現地施設及び観測機器の復旧(平成24年度当初予算)

事業概要

東北地方太平洋沖地震と同等以上の長周期の揺れが長時間にわたって発生する海溝型超巨大地震に対する被害軽減に向けた対策強化のため、実大三次元震動破壊実験施設(ヒーディエンス)の長周期化・長時間化仕様への施設更新を行う

(A)(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
地震観測施設整備
564百万円

[不落随契・請負]

[A-1]

・地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業
・応用地質(株)
・406百万円

事業概要

東日本大震災により被害を受けた地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業

[一般競争・工事]

[A-2]

・仙台高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事
・東京地質工業(株)
・103百万円

事業概要

東日本大震災で被災した仙台高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削および観測小屋の建設等工事

[一般競争・工事]

[A-3]

・八日市場高感度地震観測施設改修に伴う観測井掘削工事および付帯工事
・三井金属資源開発(株)
・28百万円

事業概要

八日市場高感度地震観測施設改修に伴い、観測井掘削工事及びそれを付帯する工事

[一般競争・工事]

[A-4]

・志津川高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事
・成幸利根(株)
・18百万円

事業概要

東日本大震災で被災した志津川高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削および観測小屋の建設等工事

(B)(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
地震観測施設整備
228百万円(復興特会)

[一般競争・請負]

[B-1]

・地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業
・応用地質(株)
・224百万円

事業概要

東日本大震災により被害を受けた地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業

(C)(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)
実大三次元震動破壊実験施設整備
3,983百万円(復興特会)

[事前確認公募・工事(一般競争・売買)]

[C-1]

・実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改修工事
・三菱重工(株)
・2,947百万円

事業概要

長時間で長周期の揺れの再現のため、アキュムレータ増設、特殊加振機構及び緊急停止時の安全装置の整備等の大規模な改修工事

[一般競争・請負]

[C-2]

・増設用プラグ型アキュムレータ
・中村エンジニアリング(株)
・349百万円

事業概要

長時間の地震動を再現可能とするためのアキュムレータ増設

[一般競争・請負]

[C-3]

・実大三次元震動破壊実験施設 実験計測装置改修
・NEC Avio 赤外線テクノロジー(株)
・195百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の長周期化・加振時間の長時間化に伴う実験計測装置の改修作業

[一般競争・売買]

[C-4]

・油圧作動油
・(株)カガセキユニオン
・135百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の油圧作動油の購入

[一般競争・請負]

[C-5]

・実大三次元震動破壊実験施設 実験映像収録・処理設備改修
・加賀ソルネット(株)
・126百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の長周期化・加振時間の長時間化に伴う実験映像収録・処理設備の改修作業

[一般競争・工事]

[C-6]

・検証用試験体の製作・設置等工事
・(株)高階
・124百万円

事業概要

長時間化改造後の性能検証試験で使用する検証用試験体の製作および設置工事

[一般競争・請負]

[C-7]

・実大三次元震動破壊実験施設におけるデータ公開システムの改修
・伊藤志テクノソリューションズ(株)
・65百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の長周期化・加振時間の長時間化に伴うデータ公開システムの大容量化・高速化に関する改修作業

[一般競争・請負]

[C-8]

・実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改修工事の監理支援業務
・(株)日建設計
・12百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改修工事の適正な履行を確保するための監理支援業務

[一般競争・工事]

[C-9]

・進相コンテナ増設工事
・(株)きんでん
・7百万円

事業概要

実大三次元震動破壊実験施設の長周期化・加振時間の長時間化に伴う進相コンテナ増設工事

[締結契約・工事]

[C-10]

・検証用試験体用予備ダンパー増設・設置等工事
・(株)高階
・2百万円

事業概要

性能検証試験で使用する検証用試験体用予備ダンパーを震動台に固定するための治具の製作・設置等工事

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) 地震観測施設整備			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	地震観測施設の復旧及び移設	564			
計		564	計		0
B.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) 地震観測施設整備			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	地震観測施設の復旧	228			
計		228	計		0
C.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業) 実大三次元震動破壊実験施設整備			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	実大三次元震動破壊実験施設(Eーディ フェンス)の長周期化・長時間化	3,983			
計		3,983	計		0
D.			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
計		0	計		0

A-1.応用地質(株)			A-6.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業	406			
計		406	計		0
A-2.東京地質工業(株)			A-7.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	仙台高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事	103			
計		103	計		0
A-3.三井金属資源開発(株)			A-8.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	八日市場高感度地震観測施設改修に伴う観測井掘削工事および付帯工事	28			
計		28	計		0
A-4.成幸利根(株)			A-9.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	志津川高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事	18			
計		18	計		0
A-5.			A-10.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B-1.応用地質(株)			B-6.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業	224			
計		224	計		0
B-2.			B-7.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B-3.			B-8.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B-4.			B-9.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B-5.			B-10.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

C-1.三菱重工業(株)			C-6.(株)高階		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事	実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改造工事	2,947	工事	検証用試験体の製作・設置等工事	124
計		2,947	計		124
C-2.中村エンジニアリング(株)			C-7.伊藤忠テクノソリューションズ(株)		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
購入	増設用ブラダ型アクムレータ	349	役務	実大三次元震動破壊実験施設におけるデータ公開システムの改修	65
計		349	計		65
C-3.NEC Avio 赤外線テクノロジー(株)			C-8.(株)日建設計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	実大三次元震動破壊実験装置 実験計測装置改修	195	役務	実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改造工事の監理支援業務	12
計		195	計		12
C-4.(株)カナセユニオン			C-9.(株)きんでん		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
購入	油圧作動油	135	工事	進相コンデンサ増設工事	7
計		135	計		7
C-5.加賀ソルネット(株)			C-10.(株)高階		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	実大三次元震動破壊実験施設 実験映像収録・処理設備改修	126	工事	検証用試験体用予備ダンパー固定治具製作・設置等工事	2
計		126	計		2

支出先上位10者リスト

A.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)地震観測施設整備

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用地質(株)	地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業	406	不随契	-
2	東京地質工業(株)	仙台高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事	103	4	※※
3	三井金属資源開発(株)	八日市場高感度地震観測施設改修に伴う観測井掘削工事および付帯工事	28	3	※※
4	成幸利根(株)	志津川高感度地震観測施設の移設に伴う観測井掘削工事および付帯工事	18	4	※※
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)地震観測施設整備

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用地質(株)	地震観測施設の復旧に係る機器の調達及び設置作業	224	1	※※
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.(独)防災科学技術研究所(施設整備費事業)実大三次元震動破壊実験施設整備

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱重工業(株)	実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改造工事	2947	公募※	-
2	中村エンジニアリング(株)	増設用ブラダ型アキュムレータ	349	1	※※
3	NEC Avio 赤外線テクノロジー	実大三次元震動破壊実験装置 実験計測装置改修	195	1	※※
4	(株)カナセキユニオン	油圧作動油	135	1	※※
5	加賀ソルネット(株)	実大三次元震動破壊実験施設 実験映像収録・処理設備改修	126	1	※※
6	(株)高階	検証用試験体の製作・設置等工事	124	2	※※
7	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	実大三次元震動破壊実験施設におけるデータ公開システムの改修	65	1	※※
8	(株)日建設計	実大三次元震動破壊実験施設の長周期化改造工事の監理支援業務	12	1	※※
9	(株)きんでん	進相コンデンサ増設工事	7	7	※※
10	(株)高階	検証用試験体用予備ダンパー固定治具製作・設置等工事	2	随意契約	-

※随意契約事前確認公募

※※同種の他の契約の予定価格を類推される恐れがあるため非公開としている。